

Projects for developing water and greenery networks

大阪狭山市 水とみどりの ネットワーク構想



令和2年(2020)3月

目 次

I. 構想の概要

- 1-1. 構想策定の背景と目的
- 1-2. 構想の位置づけ
- 1-3. 構想の対象範囲
- 1-4. 構想の期間

II. 水とみどりの状況と基本的な考え方

- 2-1. 水とみどりを取り巻く状況
- 2-2. 水とみどりを取り巻く課題と基本目標
- 2-3. 水とみどりのネットワーク形成に向けた基本方針

III. 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の特徴と将来像

- 3-1. 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の特徴
- 3-2. 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の課題と担うべき役割
- 3-3. 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の将来像

IV. 各アクションエリア（西除川周辺エリア）（三津屋川・あまの街道周辺エリア）（東除川周辺エリア）の特徴と取組み方針

- 4-1. 各アクションエリアの特徴
- 4-2. 現況から読み取れるアクションエリアの課題
- 4-3. アクションエリアの取組み方針（将来像の描き方）

V. 実現に向けた方策

- 5-1. 実現に向けた方策
- 5-2. リーディング・プロジェクトを起点とした戦略的な展開
- 5-3. 実現に向けた当面のロードマップ

（参考）語句解説

I

構想の概要

I 構想の概要

1-1 構想策定の背景と目的

近年、全国的に人口減少や都心部への人口流出等が社会的課題となっており、生活満足度や生活の質（QOL）向上による都市ブランドの向上が求められています。他都市では、水辺や公園等、公共空間の利活用による取組みが多数展開されており、にぎわいやまちの魅力向上といった成果が数多く報告されています。

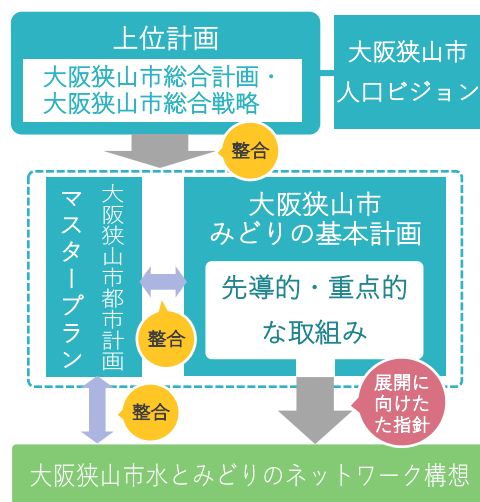
本市は、狭山池やあまの街道など、豊かな水とみどりを有しています。この強みを活かし、従来の整備や維持保全だけでなく、水やみどりと一体的な空間利用及び官民連携による柔軟な発想を取り入れた自由度の高い取組みを展開することで、市民や来訪者に憩い、楽しみ、にぎわい、交流、表現、自己実現などの場を提供することができると考えています。

本市のシンボルである狭山池を中心に、水とみどりのネットワークを形成するとともに、官民連携による種々の取組みを実施することで、持続的なエリアマネジメント体制の構築、事業費の削減、エリア価値の向上並びに周辺エリアへの連鎖的な波及効果、都市全体の価値、市民満足度の向上などを図ります。

さらに、これらの取組みを市内外に発信することや、水とみどりのネットワークと連携した公共交通のあり方の見直しなどにより、さらなる地域経済の活性化、にぎわいを生み出し、市全体を豊かにすることが可能になると考えています。本構想はこのような取組みを展開するための指針となるよう策定するものです。

1-2 構想の位置づけ

本構想は平成 30 年（2018 年）3 月に改定した「大阪狭山市みどりの基本計画」（以下「みどりの基本計画」という。）で先導的・重点的な取組みとして位置づけられている、「1. パークマネジメントによる狭山池周辺のにぎわいづくり」及び「2. 歩いて楽しい水とみどりの歩行者ネットワーク形成」を展開するための指針として位置づけます。



1-3 構想の対象範囲

本構想の対象範囲は、市域全域のうち、「大阪狭山市みどりの基本計画」に定義されている「みどり」が存在している空間、その周辺地域、水とみどりへのアクセスするためのネットワーク、その他対象エリアに影響を与えと思われる地域等、広域的かつ流動的に設定するものとします。

1-4 構想の期間

本構想の期間は、令和 2 年度（2020 年度）から令和 11 年度（2029 年度）の概ね 10 年間とします。ただし、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、各主体との協議内容等により、適宜見直すものとします。

Ⅱ

水とみどりの状況と基本的な考え方

Ⅱ 水とみどりの状況と基本的な考え方

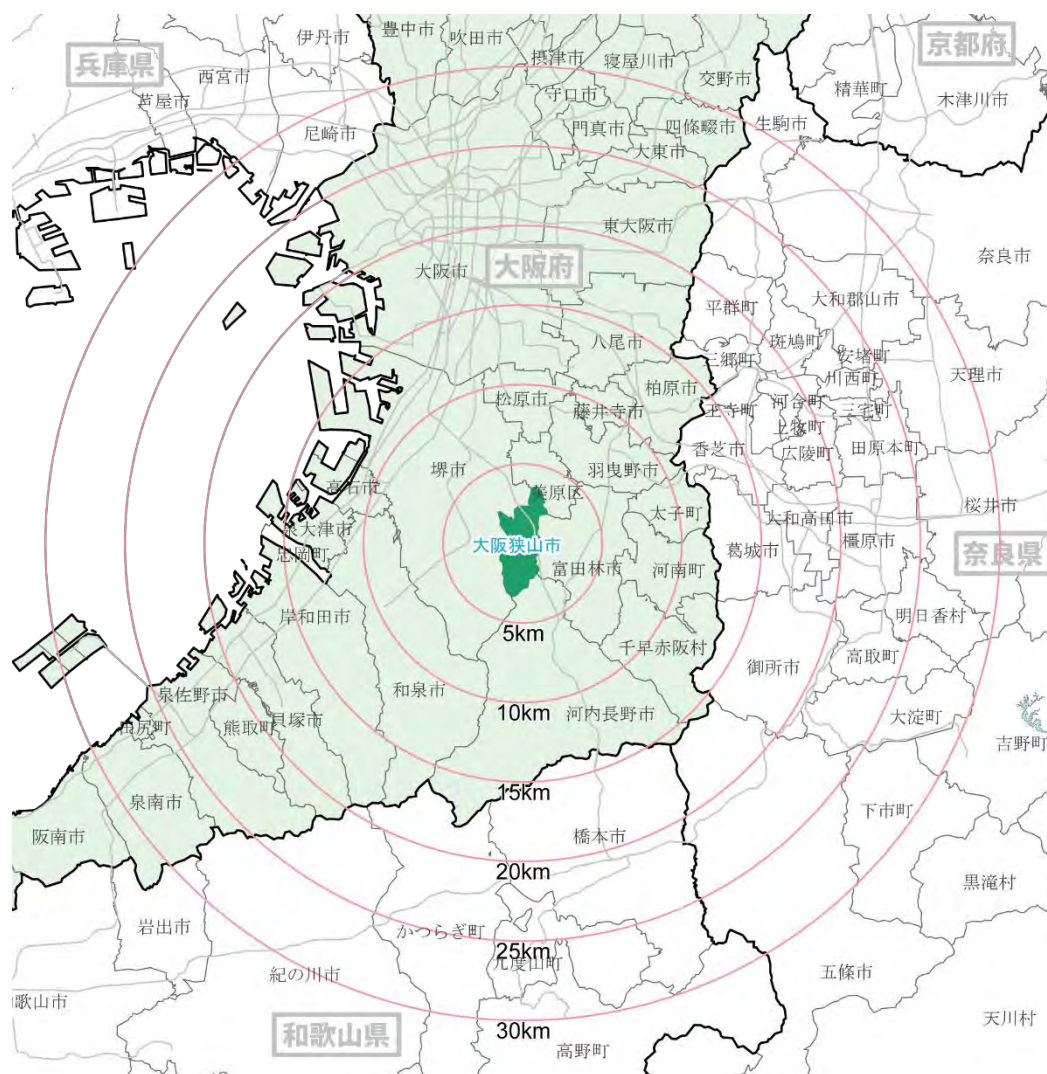
2-1 水とみどりを取り巻く状況

本市の水とみどりを取り巻く状況は以下のようになっています。

大阪狭山市の位置 ～都心近郊のまち～

本市は、大阪平野の東南部に位置する南河内地域の都市です。

市内を縦貫している南海電気鉄道高野線の 3 つの駅があり、北から狭山駅、大阪狭山市駅、特急停車駅の金剛駅があります。本市は大阪の都心南海なんば駅から電車で約 25 分、泉北ニュータウンの泉ヶ丘駅から車で約 10 分の距離に位置しています。北と西には世界遺産の一部を構成する百舌鳥古墳群を有する堺市が、東は重要伝統的建造物群保存地区に選定された寺内町のある富田林市が、南は日本遺産に認定された河内長野市が隣接しており、歴史的資産に恵まれた南部大阪のほぼ中心に位置しています。

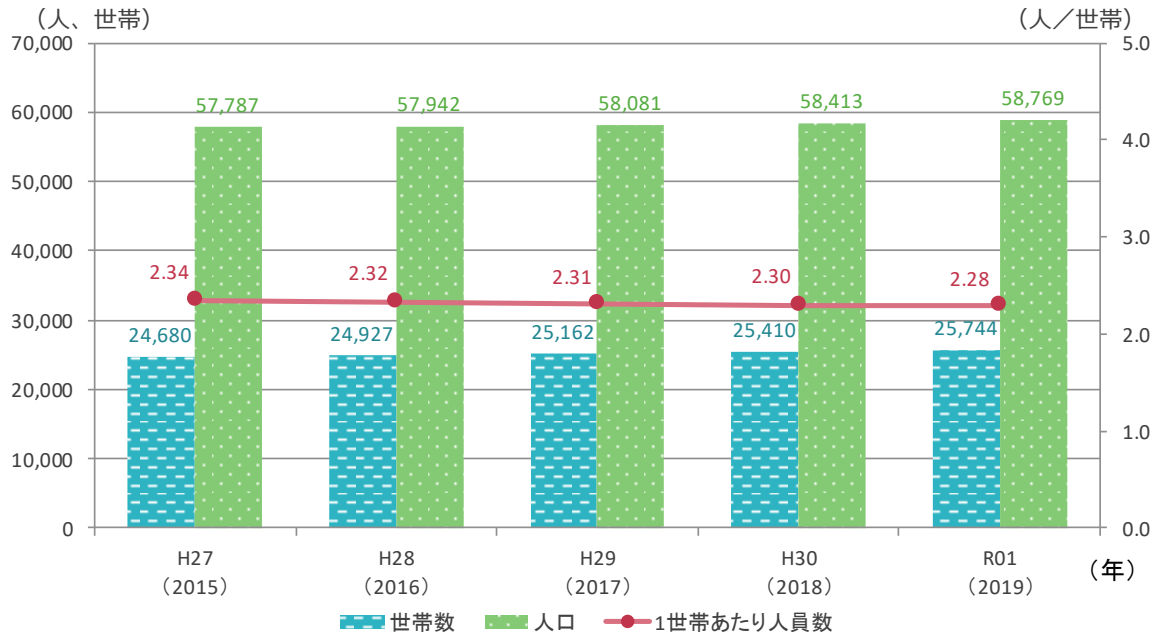


本市の位置

良好な住宅都市として発展

狭山ニュータウンをはじめ、良好な住環境が広がる住宅都市として発展してきました。

都心からのアクセスの良さから、南河内地域の中でも、居住ニーズが高く、近年の人口は近隣市町村が減少している中、微増の傾向にあります。



本市の人口及び世帯数の推移（大阪狭山市住民基本台帳による8月末現在）

水とみどりが豊かなまち

市街化が進むものの、豊かな農地や樹林地のみどりが広がる市街化調整区域が市域の4割程度残されています。

多数のため池が市域全体に分布するとともに、狭山池を中心に、西除川、東除川、三津屋川が四方に伸び、潤いある自然環境に恵まれています。狭山池周辺には副池オアシス公園、西新町公園、さやか公園等、まとまりのある水とみどりの空間があり、また、狭山ニュータウンにはあまの街道が南北に伸びており、今熊市民の森や三都神社をはじめとする樹林、東大池公園等、まとまりのあるみどりがあります。

東除川沿いには、市民ふれあいの里、大阪府南部流域下水道狭山水みらいセンター・南河内環境事業組合資源再生センター（以下「狭山水みらいセンター・資源再生センター」という。）等、自然環境を活かした施設があります。

市街地内においても、公園や緑道が分布し、身近にみどりが感じられる都市環境が形成されています。

狭山池

狭山池は、本市のほぼ中央部に位置し、本市のシンボルであるため池です。市内を流れる西除川（旧天野川）と三津屋川が南から流入し、狭山池からは西除川と東除川に分かれ北流し大和川に注いでいます。

狭山池は、七世紀前半の飛鳥時代に築造され、農業用の灌漑用水として人びとの生活に密接に関わりをもってきました。築造以降、奈良時代には行基、鎌倉時代には重源、江戸時代には片桐且元により大改修が行われ、大正、昭和、平成の改修を経て、現在では大雨などによる下流域の洪水を防ぐ治水機能を兼ねるダムとしての重要な役割も担う、貴重な土木技術遺産として評価されています。

「平成の大改修」では狭山池周辺を狭山池公園（総合公園）として整備し、日常的な散歩やランニング等、憩い・活動の場として多くの人に愛され、春の桜まつり・狭山池まつりや、冬のイルミネーションなど四季に応じた活用がなされています。

北堤には、ダムサイトミュージアムとして府立狭山池博物館・市立郷土資料館があり、狭山池 1400 年の歴史と、それを支えた土木技術の展示をあわせて、本市の郷土の歴史を分かりやすく伝えています。

そして、平成 27 年（2015 年）には、狭山池は現存する日本最古のダム式のため池として、国の史跡に指定され、歴史的・学術的価値も評価されているとともに、歴史・文化の発信拠点となっています。

また、平成 29 年（2017 年）3 月 31 日には、大阪府より「河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域」の指定を受け、水辺を活用した官民連携による地域活性化が期待されています。



みどりの将来像

みどりの基本計画においては、“水きらめき 人と自然が調和するまち 大阪狭山”をめざし、以下の将来像が示されています。

本市のシンボルである狭山池をみどりの中心核とし、また、狭山池に隣接する副池オアシス公園、西新町公園は狭山池と一体的に活用できるみどりの核として位置づけます。四方に伸びる西除川、東除川、三津屋川やあまの街道、緑道等は、人々がみどりとふれあいながら歩くことができる環境として保全、充実し、水とみどりのネットワークを構築します。市街化調整区域である周囲の樹林地や農地、南部の陶器山丘陵、その他まどりのある樹林地等は、良好な自然環境が残るエリアとして、保全、活用に努めます。

みどりの将来像図



大阪狭山市みどりの基本計画抜粋

2-2 水とみどりを取り巻く課題と基本目標

水とみどりのネットワークの形成により、以下の課題解決を図り、基本目標の達成をめざすことで、都市全体の魅力・価値及び市民満足度の向上につなげます。

都市イメージの牽引とシビックプライドの醸成

現状、水やみどりに対する市民の関心は高く、都市における水とみどりに魅力を感じている市民、水とみどりの空間を積極的に利活用している市民団体等もありますが、暮らしの中で水やみどり空間との関わりをもてる機会は少ないため、積極的に公園、河川等、水やみどりを利活用したいと思うことができる空間づくり、仕組みづくりが必要です。

水とみどりの空間及びそこでの取組みが、人びとの日常の一部となることで、その場所に愛着を持つことができ、シビックプライドの醸成につながります。特にこれからの本市を担う世代が、まちに対する誇りや愛着をもてる環境をつくることで、将来的に加速が予想される少子高齢化、定住人口の減少等を抑制することが可能と考えています。

また、このような取組みを市内外に発信することで、周辺への連鎖的な波及効果が生まれ、交流人口の拡充、都市イメージの牽引につながります。

基本目標

- ◎ 暮らしの質を高め、将来予想されている定住人口の減少の歯止めとなることをめざします
- ◎ 南部大阪をリードする都市として、交流人口の増加をめざします

回遊性や外出機会の向上

現状、緑道や河川堤防の道路等により、各公園や諸施設への物理的なつながりは確保されていますが、各施設の関係性や、利用者目線の移動空間としては課題があります。

地域内及び地域間の移動を容易にすることで利便性を高め、外出目的となる魅力的な取組みや空間をつくることで、市民や来訪者がまちを回遊し、歩行者目線でまち楽しむことができるウォーカブルな空間の形成が可能と考えます。

さらに、水とみどりによる歩行者空間や公園をはじめとするグリーンインフラは、それ自体が健康づくりの場となるだけでなく、それらを媒介し生まれる社会的なつながりは、生活の充実、市民の健康リスクの低減にも寄与します。

このように、水とみどりが豊かな環境を市民の外出機会の向上に活かしていくことが求められています。

基本目標

- ◎ 市民の外出頻度の向上をめざします
- ◎ 歩行者目線のウォーカブルな空間の形成をめざします
- ◎ 市民の健康寿命の向上をめざします

自己実現・社会参加の機会創出

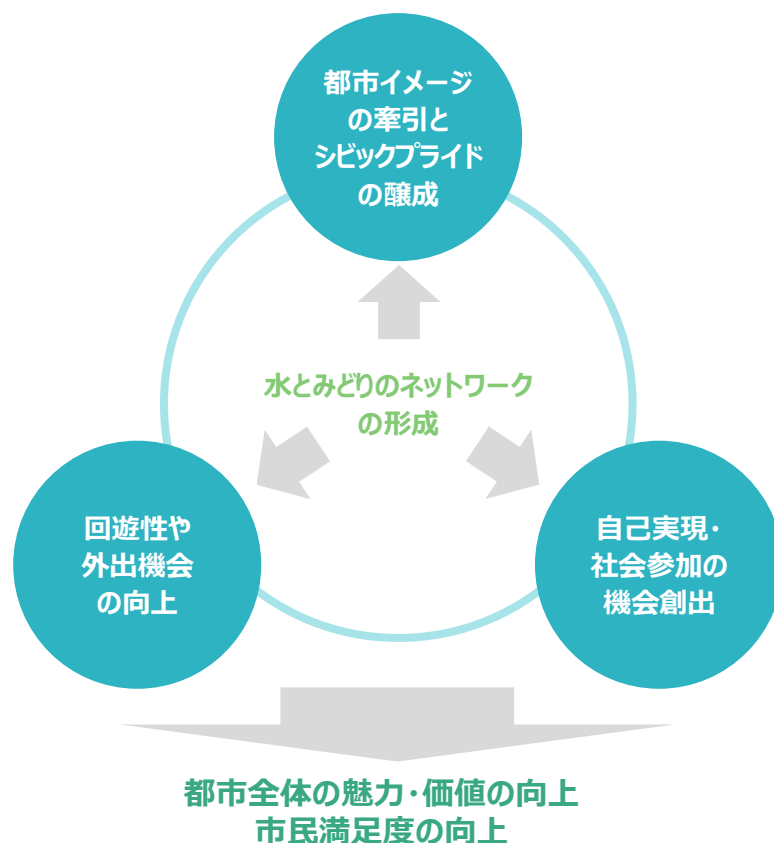
現状、市内においてはNPO法人、市民活動団体、事業者、行政等様々な主体が、いろいろな取組みを展開しており、公園等水とみどりの空間においてもイベント等が実施されています。しかし、各組織間の連携強化や、組織の高齢化による継続性等については、各組織の活動エリアごとに検討する余地があります。

これからの本市を担う人材が、様々な取組みに積極的に参加できる機会を設け、交流・連携することで、交流人口の増加につながり、人材の新陳代謝の向上につながると考えています。



基本目標

- ◎ 生きがいや日々の充実感を感じることができるまちづくりをめざします
- ◎ 本市を担う様々な人材が発掘される環境づくりをめざします
- ◎ 交流の機会を増やし、交流人口の増加をめざします



水とみどりのネットワークの形成と実現に向けた基本目標のイメージ

2-3 水とみどりのネットワーク形成に向けた基本方針

重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）におけるリーディング・プロジェクトの展開

市域中央部に位置し、水とみどりネットワークの結節点となっている、狭山池公園、副池オアシス公園、西新町公園、さやか公園を含み、北部では狭山駅、東側では大阪狭山市駅を含む一帯のエリアを重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）として位置づけ、ネットワークの中心拠点（ハブ）、かつ本市のシンボルエリアとして、リーディング・プロジェクトを展開していきます。本エリアの取組みの周辺エリアへの連鎖、波及効果により、都市全体の価値向上を図ります。

アクションエリアにおける各種取組みの展開

狭山池を中心に、本市に四方に伸びる河川や歩行者空間、歴史街道等を含む3つのエリアをアクションエリアと位置づけ、重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の取組みと連携しながら各エリアの特色を生かした種々の取組みを展開していきます。エリア状況に応じて優先度をつけ、取組みを展開することで、計画的かつ効果的な空間の質の向上を図ります。

西除川周辺エリア

狭山池上流にあたる西除川を軸に、狭山池公園から西除川緑道を経由し、東茱萸木緑地に及び、東部では金剛駅を含む一帯のエリア。

三津屋川・あまの街道周辺エリア

三津屋川及びあまの街道を軸に、狭山池公園から狭山ニュータウン、今熊市民の森を経由するエリアで、東大池公園等狭山ニュータウン内の公園、緑道を含み、市域南部に及ぶ一帯のエリア。

東除川周辺エリア

東除川を軸に、狭山水みらいセンター・資源再生センター、市民ふれあいの里等を経由し、市域北部に及ぶ一帯のエリア。

ベースとなるネットワークの再編

ウォークアブルな空間の形成の観点から、水とみどりの空間を活かした快適な移動環境となるよう、各エリアの関係性を踏まえた歩行者空間等の整備を図ります。

ネットワークの拠点となる水とみどり空間における魅力向上

ネットワークの拠点となる公園等の水とみどりがある空間においては、空間の質を高めるとともに、ターゲット（利用者）となる層を設定し、戦略的に必要な機能の導入を図ることで、人びとのライフシーンを彩る魅力ある場所としていきます。

公園や水辺空間等を活用した市民活動のステージづくり

市内に点在する公園や水辺空間等が、市民の自己実現や交流の場となるよう、プレイスメイキングなどの市民活動を支援していくとともに、柔軟な利活用のあり方を検討していきます。

水とみどりのネットワーク構想図



Ⅲ

重点アクションエリア

(狭山池周辺エリア)

の特徴と将来像

Ⅲ 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の特徴と将来像

3-1 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の特徴

ネットワーク上の位置関係

- ・狭山池周辺エリアは、他のアクションエリアが合流する結節点となっています。
- ・また周辺には、市役所等公共サービス機能が位置するエリアであることから、各地域からの来訪目的の高い場所であるといえます。

水・みどりの状況

- ・狭山池公園、さやか公園、副池オアシス公園及び西新町公園といった総合公園や近隣公園のまとまりのあるオープンスペースが連続しています。
- ・狭山池や副池の水辺と公園のみどりが隣接する特徴的な公共空間が形成されています。
- ・狭山池公園は、日常的に散歩やランニングを行う利用者が多く、一日あたり数千人の来園が見られます。
- ・狭山池の河川区域は、「河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域」に指定されており、水辺空間の活用によるにぎわい形成が期待されています。



周辺環境

- ・狭山池の北側や東側は、閑静な住宅を中心とした土地利用となっており、落ち着いた環境が形成されています。
- ・狭山池の西側や南側は、市街化調整区域であり、農地が広がる一方で、国道 310 号及び府道森屋狭山線は、周辺都市を結ぶ主要幹線道路であり、その沿道は商業等による利用が進んでいます。

歴史・文化

- ・国の史跡に指定されている狭山池は、現存する日本最古のダム式のため池としての歴史的価値が高く評価され、また、建築家安藤忠雄氏設計の狭山池の歴史と土木技術を伝える府立狭山池博物館・市立郷土資料館は、年間約 10 万人の来館があります。歴史的価値のある本エリアにおいては、史跡としての環境を保全するとともに、多くの人に来訪してもらうことで、今後さらなるエリアの価値及び魅力の向上が期待されています。
- ・狭山駅～狭山池～大阪狭山市駅をつなぐ下・中高野街道沿道にはイメージを統一するための舗装等がなされており、歴史的な趣のある景観が形成されています。

市民の活動

- ・春に開催される桜まつりと狭山池まつりは、市民主体で実施されており、多くの来園者でにぎわいます。桜まつりでは、ライトアップされた桜が人びとを魅了しており、狭山池まつりは、約 5 万人の来場がある本市を代表する一大イベントとなっています。
- ・副池では、ビオトープの管理など自然環境をテーマにした活動や、アートやピクニックといった屋外空間を楽しむイベント等が市民主体で実施されています。



3-2 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の課題と担うべき役割

ネットワークの中心拠点（ハブ）とした交流機能の向上

- ・水とみどりのネットワークが結節する中心拠点（ハブ）として、魅力ある交流機能を導入することで、ネットワークにおける市民や来訪者の回遊性を高める必要があります。
- ・狭山池公園でのイベント開催時には来園者が多く、にぎわいが見られますが、日常的な利用形態は散歩やランニングなどに限定されています。今後は、日常的に多様な活動が展開されるよう、機能導入にあたっては、主なターゲット（利用者）とライフシーンを設定することで、戦略的に展開を図る必要があります。
- ・公園間や他のアクションエリアとの結節部等においては、より円滑な移動ができるよう整備する必要があります。

持続的な成長に向けた都市魅力の発信

- ・住宅都市としての持続的な成長をめざし、単に暮らすだけの環境をつくるのではなく、まちに関わることで、生活満足度や生活の質（QOL）の向上等につながるような、魅力・付加価値を創出する必要があります。
- ・本エリアが、本市のシンボルとして、これからの本市を担う層にとって、誇りや愛着が生まれる場所となるよう、にぎわいを生む活動を展開するとともに、印象的で魅力的な空間をつくる必要があります。

エリアマネジメント体制の構築及び波及効果による市全体のネットワーク構築の牽引

- ・重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）である本エリアでの取組みをリーディング・プロジェクトと位置づけ、他エリアの新たな取組みにつなげる必要があります。
- ・本エリアの取組みは、段階的に事業を進めていくことで、常に期待感のある場所とするとともに、多様な主体との連携によるエリアマネジメントなど、持続的にエリア価値を高めていくための仕組みをつくる必要があります。

重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）



3-3 重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の将来像

想定するターゲット（利用者）とライフシーンの設定

ターゲット（利用者）とライフシーンを想定することで、より実現性の高い将来像を検討します。

ライフシーンの一例	ターゲット（利用者）の一例
遊ぶ・憩う 学ぶ 水とみどり溢れる環境を活かした子育てや憩いの時間が日常のワンシーンに！ ・公園で遊ぶ子どもを見守りながら、親同士がカフェでお茶をすることができる。 ・自然環境や狭山池の歴史を通じた学びを体験することができる。	○子どもを連れて公園等で過ごしたい子育て層 ○狭山の歴史等について学びたい層
運動する 健康になる 豊かな自然環境の中で、運動やスポーツを通じ、交流や自分磨きを楽しめる！ ・すでに盛んなランニングやウォーキングをより快適に楽しむことができる。 ・ツーリングの最中、心地の良い環境で休息することができる。 ・公園内で、ヨガ、ウォーキング等、運動サークルで活動することができる。	○通勤前や休日の都心部で働いている層 ○健康・スポーツ等に関心のある層 ○元気なシニア層 ○子どもと運動をしたい子育て層
体験する 交流する 手軽に自然を体験し、“都心と自然を感じる郊外型ライフスタイル”を楽しむ！ ・水面やみどりに包まれた環境を活かした SUP やピクニック等のアクティビティが体験できる。 ・収穫など農を通じた体験ができる。 ・南河内を代表する地場産品を活かした食を楽しむことができる。 ・市民同士が地域活動や趣味の共有といったテーマ型の活動を通じて、交流することができる。	○都心部に勤務し、郊外に住む市民や南河内地域に居住している層 ○地域との関わりを望む層



重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）の将来像

様々な場が連担する狭山池周辺エリアでは、ライフシーンを彩るため、特性に応じた空間づくり、機能導入について検討し、それを踏まえた将来像を描きます。また、場所相互のつながりを意識した空間づくり、機能導入を検討することで、アクションエリアとの回遊性の向上を図ります。

<狭山池公園周辺ゾーン>

- ・狭山池公園の周辺においては、現在の可能性を活かしつつ、必要に応じて新たな機能の導入や更新を検討します。
- ・狭山池の西側については、幹線道路の利便性を活かし、来訪者をもてなす本エリアの新たなエントランスとなるよう、そのあり方を検討します。
- ・府立狭山池博物館・市立郷土資料館については、本市・大阪府・地域の三者協働により、さらなる学びや歴史の発信拠点として、相互の魅力を高めていくための取組みを検討します。
- ・「河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域」の指定による制度を活用し、水辺や河川空間を利用したにぎわいづくりを推進します。

<副池オアシス公園ゾーン>

- ・現在の副池オアシス公園と西新町公園を一体化した、副池オアシス公園ゾーンを新たな地区公園とし、府道大阪狭山線に近い箇所は、狭山池公園と副池オアシス公園ゾーンをつなぐ場としてふさわしい、期待が感じられるエントランス空間の形成をめざし、より魅力的な空間整備と集客性の高い機能の導入を図ります。
- ・来訪者や公園、地域を盛り上げる市民が日常的に憩い、遊び、過ごしたくなる様な、居心地の良い空間づくりを民間活力の導入により進めるとともに、自然豊かな環境をまもりつつ、水辺やみどりを生かした非日常が体験できるアクティビティ機能等の導入、市民活動をサポートする機能の導入を図ります。

重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）で展開することが考えられる取組み

＜にぎわいや交流を生む機能導入＞

- ・官民の連携により、場所の特性なども勘案し、「公園と一体となった憩えるにぎわい機能（カフェなど）」や、「運動・健康サポート機能」「アウトドア機能や、水上利用等アクティビティ機能」「広域交流機能」等のライフシーンを実現する各種機能の導入を検討します。

＜自然や屋外空間を活かした活動の場づくり＞

- ・現状の貴重な自然環境を保全すると共に、新たな環境整備などにより、市民の活動の場づくりを進めます。
- ・想定される活動の特性や活動相互の関係性に応じ、多様なニーズに対応することができるよう、利便性の高い空間をつくるとともに、その運用方法を検討します。

＜全体を包括するエリアマネジメントの取組み＞

- ・各団体での取組みと、エリア内の活動場所の運営・経営等について、継続的に実施できるよう、関係団体で構成されるエリアマネジメント体制の構築を検討します。
- ・これからの本市を担う活動団体の取組みや、組織間の連携をサポートします。
- ・エリア内にある駐車場、施設等の維持管理、運営、経営などの仕組みについて、そのあり方を検討します。
- ・本エリアの取組みを市全体へ連鎖的かつ波及的に実施することで、都市全体の価値の向上をめざします。

重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）のイメージ



※にぎわいのイメージを表現したものであり、土地利用や整備計画等の具体的な事業内容を表したものではありません。

IV

各アクションエリア

(西除川周辺エリア)

(三津屋川・あまの街道周辺エリア)

(東除川周辺エリア)

の特徴と取組み方針

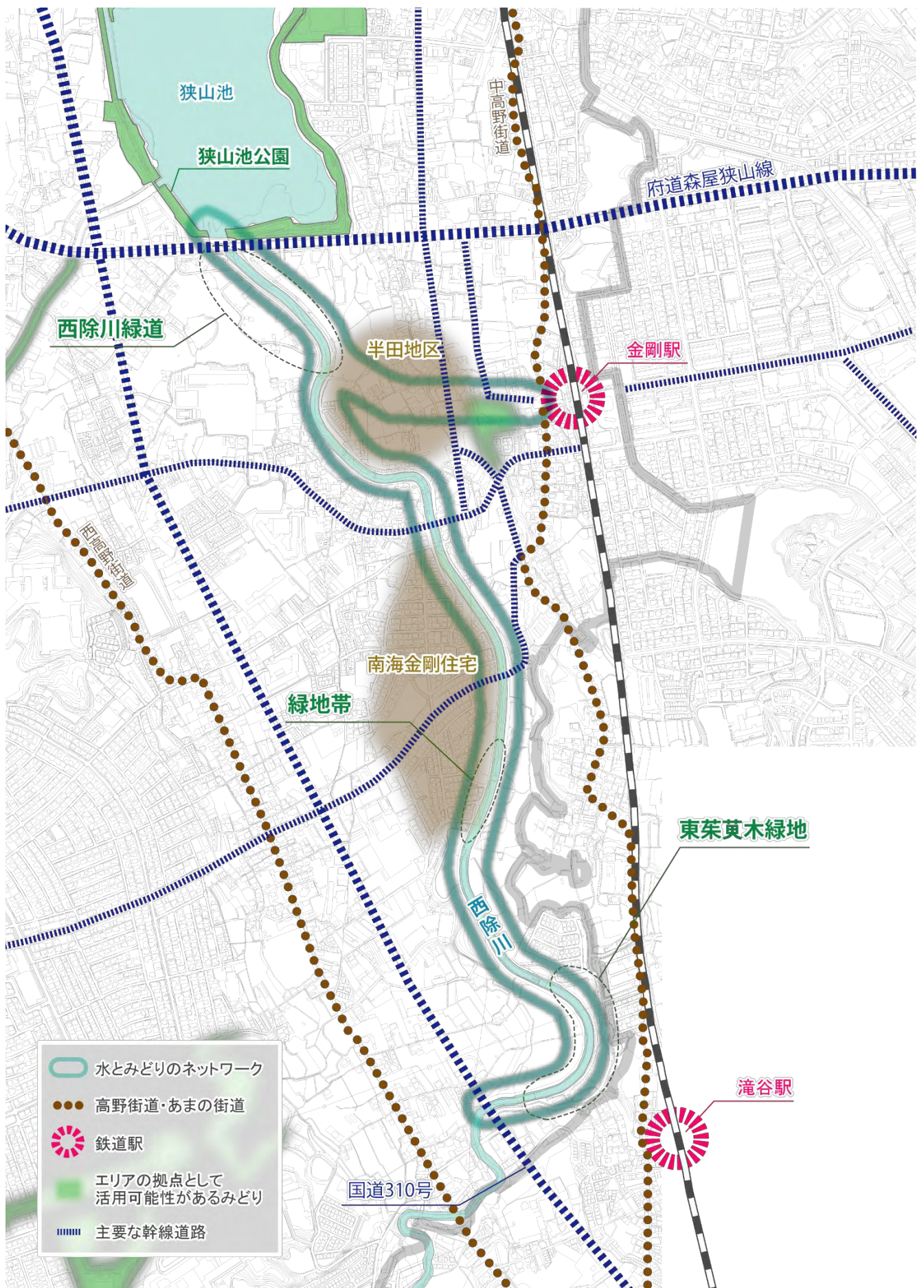
Ⅳ 各アクションエリア（西除川周辺エリア、三津屋川・あまの街道周辺エリア、東除川周辺エリア）の特徴と取組み方針

4-1 各アクションエリアの特徴

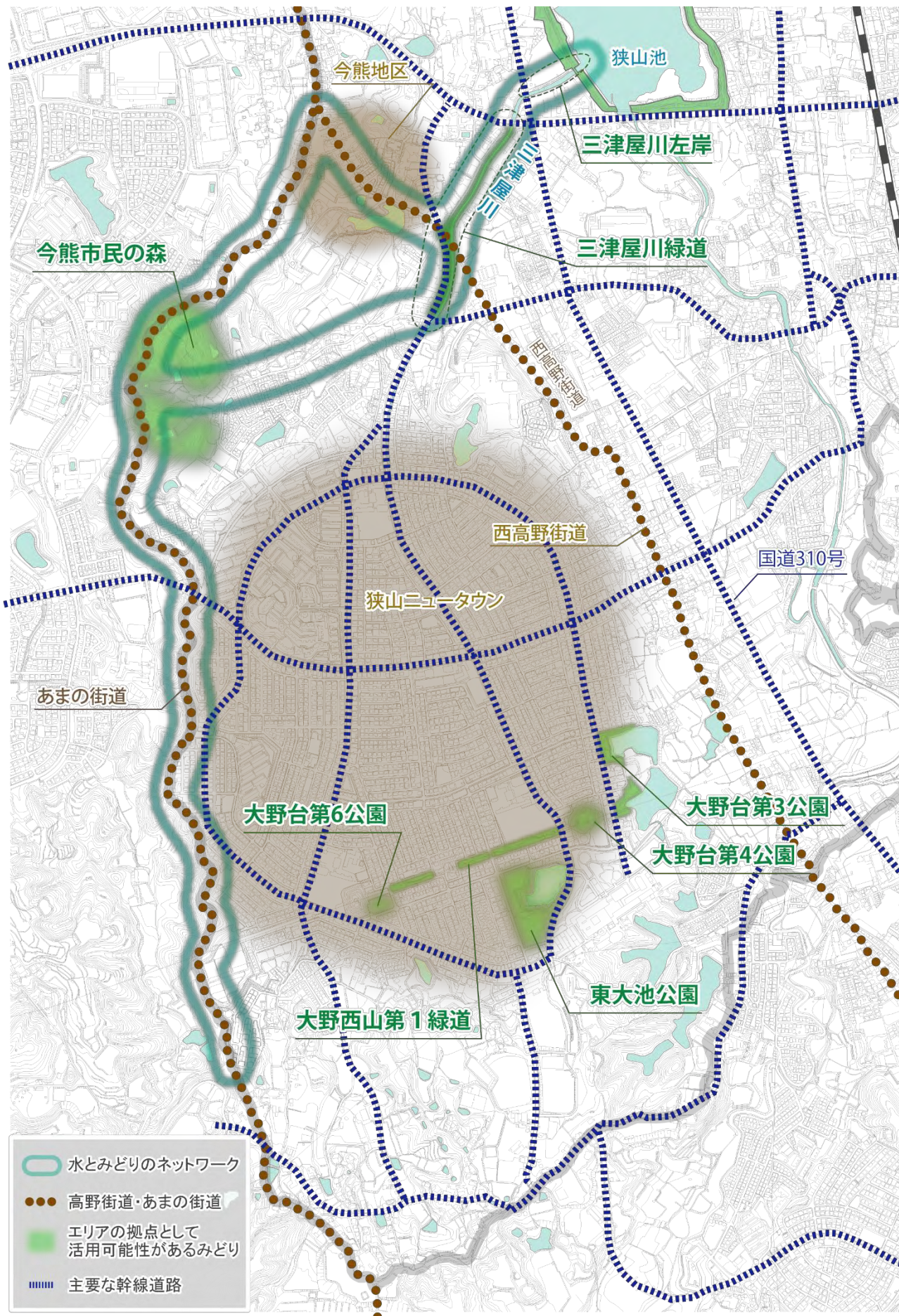
下表で、各アクションエリアの特徴（一例）を整理します。

	水とみどりの状況		周辺環境	歴史・文化	市民の活動
	水とみどりの移動環境	活用が考えられるみどり			
西除川周辺 エリア	●西除川の左岸には、西除川緑道が整備されているが、両側の植樹帯により閉鎖的な印象となっている。 ●西除川緑道と狭山池公園をつなぐ護岸形式の遊歩道（アンダーパス）が整備された。 ●南海金剛住宅内には、緑地帯があるが、十分な整備がなされていない。 ●西除川沿いの河川管理用通路は歩車分離ができていない箇所がある。 ●エリア南東部には、東茱萸木緑地が整備されている。	●エリア中央部には、東茱萸木第 10 公園をはじめ、小規模な公園が点在している。 ●地区の北部や南東部は、市街化調整区域となっており、まとまりのある農地が連担している。	●西除川緑道及び東茱萸木緑地周辺は農地であり、その間は南海金剛住宅等の住宅地となっている。	●エリア西側には西高野街道が並走している。 ●南北に中高野街道がつながっており、街道沿いには、重要文化財を所有する風輪寺がある。 ●金剛駅周辺は古代から続く狭山神社を中心とした地域であり、中世には半田城が神社周辺にあったと伝えられている。	●南海金剛住宅南部の市街化調整区域では、ホテル鑑賞等の河川環境を活用した活動が見られる。
三津屋川・ あまの街道周辺 エリア	●三津屋川（狭山池～亀の甲）左岸は、空間があるものの、未共用となっている。 ●三津屋川緑道は、植栽により閉鎖的な印象となっているため、そのあり方について検討が必要である。 ●三津屋川緑道から三都神社までの区間については、歴史的な趣が感じられるものの、歩道が未整備の箇所も見られる。 ●あまの街道の各所には、休憩所やベンチ等が整備されているが、近年老朽化が見られるものもある。	●あまの街道（今熊市民の森）は、現在、整備が進んでおり、更なる活用が期待される。 ●狭山ニュータウンの南部には、大野台第 3 公園、大野西山第 1 緑道、大野台第 4 公園、大野台第 6 公園、東大池公園が連担している。	●三津屋川の西側は、今熊地区の住宅地となっている。 ●エリア中央部には、狭山ニュータウンが位置し、低層の住宅地が広がっている。 ●市域南部の大野地区は、名産でもあるブドウ畑等が広がる農地や山林を中心とした土地利用となっている。	●山本地区からの西高野街道が三津屋川を横断し、国道 310 号に平行して南下している。 ●西高野街道から分岐したあまの街道が府道富田林泉大津線まで続いている。 ●古墳時代に硬質の須恵器を焼いていたことから名前のついた陶器山がある。	●今熊市民の森では、市民による植樹や清掃管理など自然環境の保全活動が進められている。 ●狭山ニュータウンでは、ニュータウン活性化の取組みが進められている。
東除川周辺 エリア	●ルートが複数あり、歩道が整備されていない箇所がある。 ●東除川の左岸は、空間があるものの未整備となっている。 ●大鳥池東側及び北側の道路は、舗装がなされ、水辺に沿って歩行者空間が確保されている。	●狭山水みらいセンター・資源再生センター敷地内には、せせらぎの丘やかがやき広場、パターゴルフ広場等が整備されている。 ●市民ふれあいの里は本市を代表するアクティビティ施設であり、大型遊具のある広場やバーベキューのできるキャンプ場、リス園や植物園、テニスコート等がある。	●大阪狭山市駅の東側は近隣商業地域であり、小規模な商店や飲食店が並んでいる。 ●エリアの大部分が市街化調整区域であり、まとまりのある農地が広がっている。	●中高野街道が東除川と並走し、東野地区へと続いている。 ●江戸時代を通して、狭山藩北条氏の陣屋（上屋敷）が営まれ、多くの武士が住んでいた。	●市民ふれあいの里では、ボーイスカウトや市内の小学生等により野外活動等が行われており、交流などの場となっている。

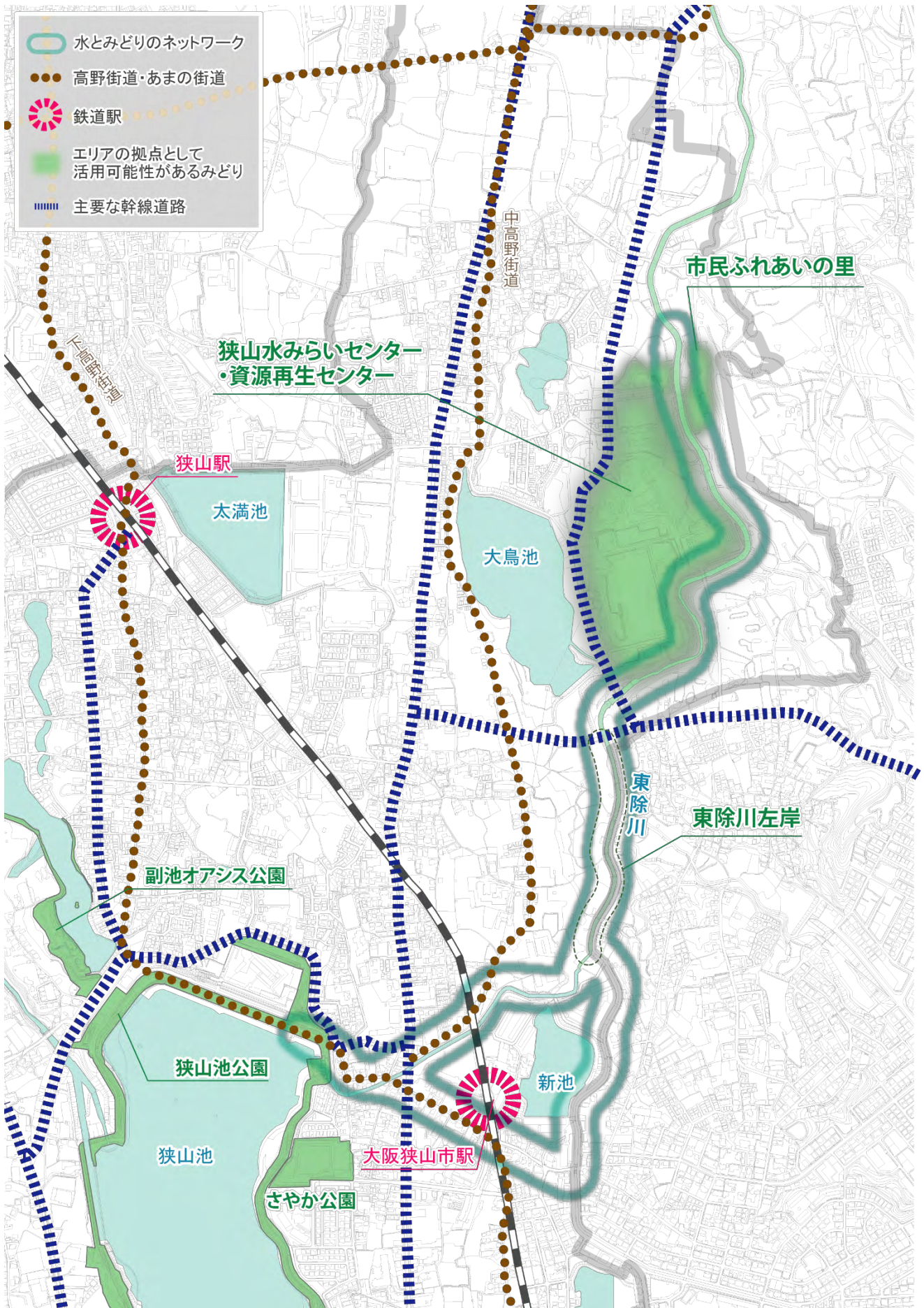
西除川周辺エリア



三津屋川・あまの街道周辺エリア



東除川周辺エリア



4-2 現況から読み取れるアクションエリアの課題

ネットワーク形成に向けた歩行者空間等の再編

- ・水とみどりが体感できるウォーカブルな空間の形成に向け、歩行者空間や親水空間等の再編、各エリアの接続部分の整備、駅からの動線と公共交通機関との連携等より、快適かつ期待感に満ちた空間をつくる必要があります。
- ・エリアの特性に応じ、景観に配慮し大阪狭山市都市計画マスタープラン等関連計画と連動したまちづくりを進める必要があります。
- ・地域等の意向に応じ、市民による空間の利活用や管理の余地を設けることで、市民活動のきっかけをつくることも考えられます。



拠点となるみどりの積極的な利活用方法の検討

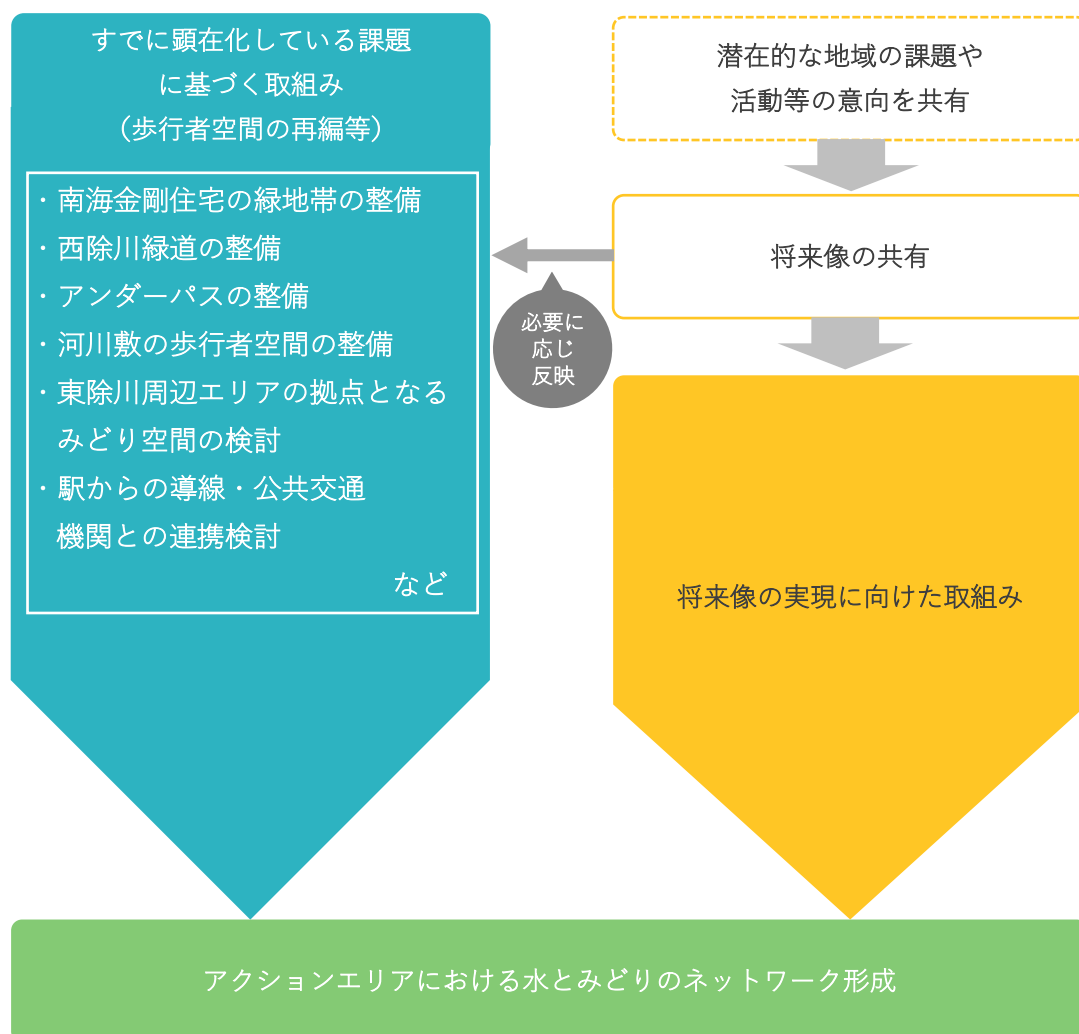
- ・今熊市民の森や市民ふれあいの里、狭山水みらいセンター・資源再生センターといった市民の活動拠点となることが想定されるみどり空間については、多様な主体との連携による持続可能な運営管理を検討するとともに、エリアマネジメントの取組み等、利用を高めるための戦略を検討する必要があります。
- ・市民による活用意向の見られる公園や緑地については、市民活動のステージとなるよう、空間や管理のあり方について検討を行うことが考えられます。

水とみどりを活用した市民や地域の取組みの促進

- ・水とみどりの空間を活用した既存の市民活動を応援するとともに、市民による地域課題の解決や自己実現に向けた新たな活動につなげていくことが必要です。

4-3 アクションエリアの取組み方針（将来像の描き方）

アクションエリアにおいては、現在、顕在化している課題に対応するため、既存の緑道や都市緑地、護岸施設等の歩行者空間再編等を中心に、順次進めていくことで、連続した快適な歩行者空間ネットワークの形成を図るとともに、地域や既存の活動主体とともに、各エリアの将来像を描いていきます。



V

実現に向けた方策

V 実現に向けた方策

5-1 実現に向けた方策

官民連携事業による魅力ある拠点となるみどりの形成

拠点となるみどりにおいては、ネットワークの中心拠点（ハブ）として、人びとを惹きつける魅力ある機能や質の高い空間づくりが求められます。しかし、これまでの公設公営によるサービス提供では、多様化するニーズに対応することが難しく、また、人口減少により財政状況が厳しくなるとともに、多くの都市施設等の老朽化に伴うインフラの維持管理費の増大が進む中、魅力的なサービスの提供が困難となります。

そこで、今後は、行政が持つ魅力的な資源を活かし、民間事業者が持つ資金力やノウハウを取り入れることで、機能導入や施設の管理運営を行う『官民連携』の取組みが重要となってきます。

また、水とみどりのネットワークにおける拠点となるみどり形成に向けては、この考え方を基本に魅力ある活動や場所づくりを進めます。

ネットワークの形成に向けた空間づくり

人びとが快適に楽しみながら移動できる空間づくりを進めるため、緑道・歩道・親水空間の整備を進めることで、歩行者空間の充実を図ります。

また、移動手段の多様化の視点から、公共交通網の円滑化を進め、ネットワークの補完を図ります。

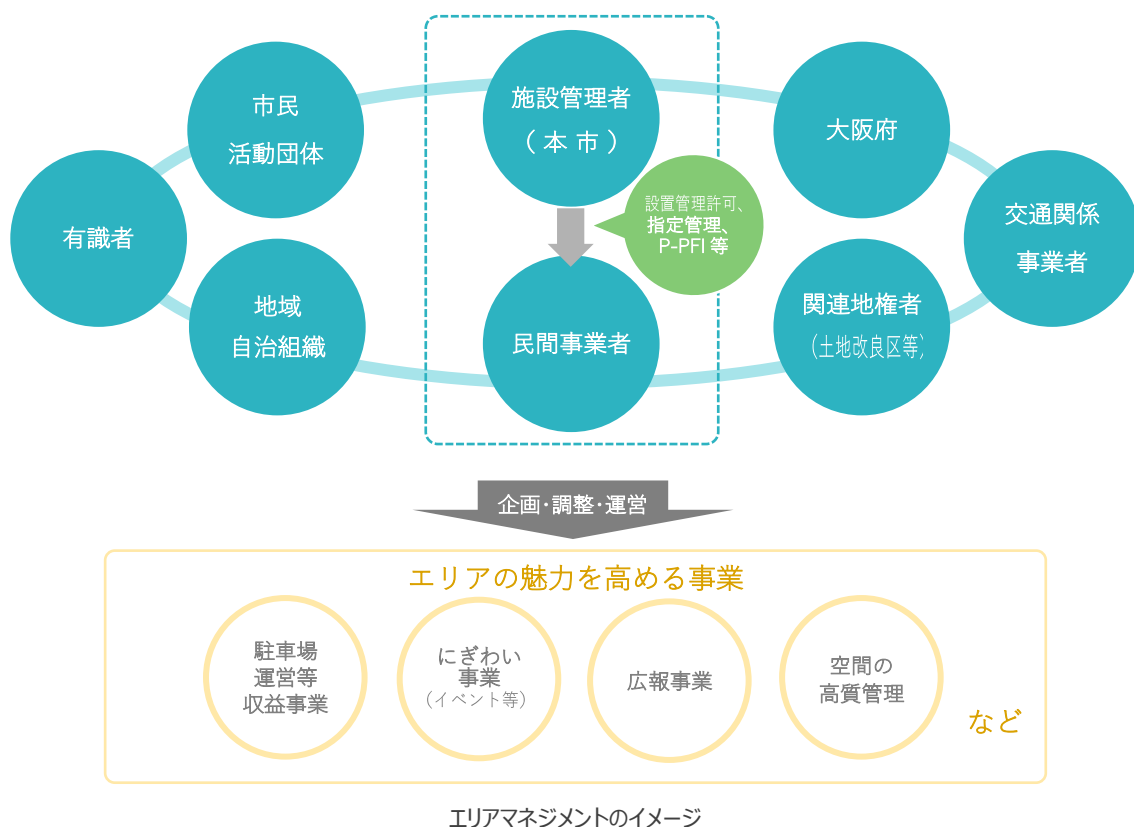
人びとによる水とみどりの利活用に向けた支援

空間の整備だけでなく、人びとによる利活用がなければ魅力的な水とみどりのネットワークは実現できません。そのため、重点アクションエリア及びアクションエリアを中心に、地域で将来像を共有し、市民の暮らしに寄り添った場となるように、そのあり方について検討を進めます。

また、水とみどりの空間を舞台としたプレイスメイキングの取組みを促進するために必要な支援を行うとともに、公共空間の柔軟な利活用に向けた管理体制について、検討を進めます。

持続的に地域の魅力を高めるエリアマネジメントの取組み

水とみどりの空間の魅力を持続的に高めるため、エリアマネジメントの考え方を基本とした、行政・民間事業者・市民の連携体制の構築を図り、空間の維持管理や市民の活動をサポートできる環境を整えるとともに、必要な運営方法や財源確保等についての仕組みを検討します。



水とみどりを通じた都市ブランディング戦略

上記の取組みについて、さらなる利活用の促進や、経済活動につなげていくため、本構想に基づく取組み内容や魅力を継続的・戦略的に発信していくことで、都市のブランド価値向上を図ります。

魅力の発信にあたっては、ターゲット（利用者）に訴求するデザインを取り入れるとともに、民間事業者や水とみどりの空間に関わる市民との連携など、様々な手法を検討します。

5-2 リーディング・プロジェクトを起点とした戦略的な展開

水とみどりのネットワークの実現に向け、5-1 に示す取組みを総合的に進めていくためには、優先順位をつけて取組みを展開していく必要があります。

そのため、重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）のうち、副池オアシス公園ゾーンと狭山池公園周辺ゾーンを結ぶ副池オアシス公園のエントランス部分での官民連携事業をリーディング・プロジェクト（第1期事業）と位置づけ、先行的に事業を進めることで、ネットワーク全体の期待値を高めつつ、段階的に取組み全体を推進していきます。

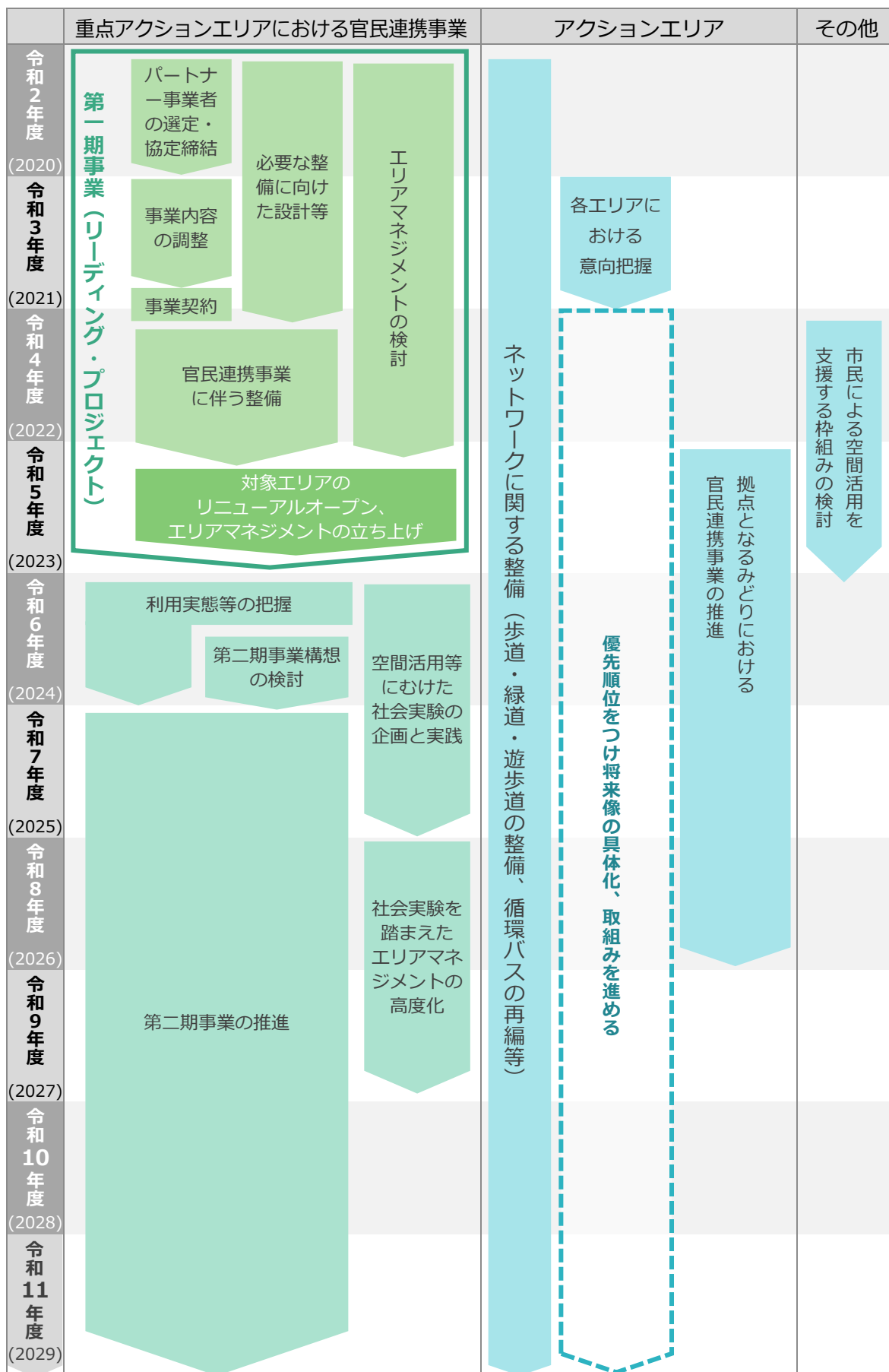
また、質の高い官民連携事業を推進するためには、パブリック・マインド（公共的視点）を有する民間事業者との連携が不可欠であるとともに、行政にもビジネス・マインド（経営的視点）が必要です。

事業推進にあたり、民間事業者との対話を重視し、十分な連携のとりことができるパートナーを探すとともに、専門家との連携等、事業の実現に向けた条件整理を進めていきます。

さらに、重点アクションエリア（狭山池周辺エリア）における将来像の実現に向けては、市民によるプレイスメイキングの取組みや河川空間活用の試行的実践（社会実験）等を行うことで、課題となる事項の顕在化を図るとともに、全体の機運を高めます。

5-3 実現に向けた当面のロードマップ

当面、以下のスケジュールを想定し、各取組みを進めます。



語句解説

本構想に掲載する専門用語等を解説しています。

う	ウォーカブル	全国的に「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成をめざす「ウォーカブル推進都市」の取組みが進められている。本市も、国土交通省の「まちなかウォーカブル推進プログラム」に賛同している。
	エリアマネジメント	特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行う取組み。
お	オープンスペース	建物が建っていない場所。狭義には、公共性のある空地や緑地のことを指すこともある。
か	河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域	河川空間のオープン化を図り、都市及び地域の再生等に資するため、民間事業者等による河川敷地の利用を可能とする区域。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所面積2haを標準として配置する。
き	近隣商業地域	建築物の用途・規模・形態などの規制や誘導を通じて、土地利用の方向づけを行うために、都市計画で定められている用途地域のひとつであり、近隣の住宅地の住民のための店舗・事務所等の利便の増進を図る地域。
く	グリーンインフラ	自然環境の持つ防災やレクリエーション、資源循環など多様な機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方及び、それら機能を有する施設・環境のこと。
こ	公設公営	特定の施設を行政（公共）が設置し、行政（公共）が運営することを指す。反対に民間事業者等が施設を設置、運営することを民設民営という。
し	市街化調整区域	無秩序な市街化を抑制するために都市計画法に基づき指定される、都市計画区域内の区域区分の一つであり、市街化調整区域は、市街化を抑制することを基本とし、一部を除いて開発を禁止する区域。
	シビックプライド	都市に対する市民の誇りを指す言葉。単に地域に対する愛着を示すだけではなく、権利と義務を持って活動する主体としての市民性という意味が含まれる。
	重要伝統的建造物群保存地区	城下町、宿場町、門前町など全国各地に残る歴史的な集落・町並みを保存するため、市町村からの申出により、国が指定する地区。

そ	総合公園	都市住民全般の休憩、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園。面積 10～50ha を標準とする。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園。面積 4 ha を標準とする。
は	パークマネジメント	行政、民間事業者、市民などが連携し、情報発信や空間の活用を企画・運営することで、公園の利用促進を図る取り組み。
	ブランディング	ものの質を高めることや情報を上手く伝えることなどにより、そのものの価値やイメージを高めること。
ふ	プレイスメイキング	空間において、居心地の良い場所をつくり、生活の質を高めるための取り組み。また、簡易にできることから実践を行うことで、課題や可能性を可視化し、公共空間などの計画、設計、管理、運営のあり方を検討するためのアプローチとしてもその役割が期待される。
	ライフシーン	本構想では、市民の暮らしの一場面をライフシーンと呼んでいる。

発行日：令和2年（2020年）3月

発行：大阪狭山市

編集：大阪狭山市都市整備部公園緑地グループ

〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山一丁目 2384-1

TEL：072-366-0011（代表）

E-mail：koen@city.osakasayama.osaka.jp

大阪狭山市
水とみどりの
ネットワーク構想

OsakaSayama

Projects for developing
water and greenery networks

大阪狭山市

〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山1丁目2384-1

TEL 072-366-0011 (代表)

<http://www.city.osakasayama.osaka.jp/>